

全場日本化学労働組合東京支部
 敬
 一、本支部は、三月十七日、本支部の代表者として、貴会へ参上し、労働争議の経過について報告いたしました。貴会からは、労働争議の解決に努めてくださいと御意見をいただきました。本支部は、御意見を踏まえ、労働争議の解決に努めてまいります。また、貴会へ御礼申し上げます。

二月十七日
 全場日本化学労働組合東京支部
 敬

年	6. 3. 20
号	2269

労務第九六四號

昭和六年三月十七日

勲賞視總監 丸山 鶴 吉

内務大臣安達謙藏殿
 社會局長官殿
 各廳府縣長官殿（八六廳府共）

貴本硝子工業所労働争議ニ関スル件
 『日本化学』（第三號）自然消滅

要旨前報如く工場主側ニ於テ暴行セル職工ハ所轄署ニ於テ取調中ニ処川村ヲ除キ他ハ
 放逐セルガ解雇手当等ノ要求ナリ自然消滅トナレリ

一 標記争議ハ自然消滅トナレルカ否過左ノ通りニ有之
 記

工場主側ノ対策